

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 8 日

仕事の内容	南街公民館事業					
担当部署・課長名	中央公民館	課	南街公民館	係	課長名	尾又 恵子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 生涯学習の充実 (総合計画書 35 ページ)

予算名	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業	2	南街公民館事業
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。						① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民						南街・桜が丘・向原地区に居住する市民の数(27年4月1日現在) → 公民館利用は地域制限はないが、近隣住民の人数とした。					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 地域で、学習の場に参加できる。						② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → ①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(27年4月現在)					
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。						③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤南街公民館だよりの発行						①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 ③イベント開催回数 → ④施設の利用率 ⑤南街公民館だよりの発行回数					

		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	30,994	31,849	32,642	
	成果指標	②の数値	① 人	① 3,269	① 3,014	① 2,752	
			② 人	② 30,514	② 31,386	② 30,425	
			③ グループ	③ 115	③ 115	③ 113	
	目 標	②の目標値	成果指標(②)が増加することを目標とする				
活動指標	③の数値	① 回	① 29	① 31	① 29		
		② 回	② 37	② 36	② 40		
		③ 回	③ 5	③ 5	③ 6		
		④ %	④ 72.14	④ 70.75	④ 69.71		
		⑤ 回	⑤ 3	⑤ 3	⑤ 3		

3 経費	事業費		円	2,623,338	2,717,521	3,012,303	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	2,444,418	2,548,931	2,851,903	
		特定財源	円	178,920	168,590	160,400	
		(うち受益者負担)	円	178,920	168,590	160,400	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2	2	2	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	16,466,000	16,466,000	16,466,000	
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	19,089,338	19,183,521	19,478,303		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和46年6月に市内初の公民館として開館した。それまで、講座を市役所、学校、民間施設などで開催してきたが、社会教育活動の拠点となった。また、同年、美術会、写真愛好会、社交ダンスクラブ、手工芸連盟、茶道連盟が結成され、さらに、文化協会(7団体：花道、書道、手工芸、美術会、茶道、写真愛好会、社交ダンス)が結成された。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	施設の貸出について、インターネット予約を平成27年10月から開始した。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	施設の貸出について、インターネット予約を平成27年10月から開始した。インターネットに無縁だった多くの高齢者が不安と混乱を示した。さらに28年2月に抽選システムを導入したため、調整会議が廃止となった。このことにより高い利用率を調整会議の話し合いや互いの合意で解決することができなくなったこと、また抽選により当落が発生し定期的な活動が阻害されるという反対の意見が多数寄せられた。月に1回の交流の場が失われるなどの声も聞かれた。一方で、調整会議に出席できなかったグループや新規のグループが自宅から気軽に予約することが可能となりインターネットを活用する方々への利便性が図られた。
-------------	--	--

仕 事 の 内 容	南街公民館事業			
担当部署・課長名	中央公民館	課	南街公民館	係 課長名 尾又 恵子

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	①②⑤ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
7 課 題	(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 市民協働を行うには、行政主導で行う場合より多くの時間と労力がかかってしまう。その分の時間や人員確保も必要であるし、市民協働が各事業の事業成果に効果的かどうか見極めることも必要もある。また、市民に対しても、行政への批判や要望だけでなく、市民の自主的かつ主体的な活動や学習に向かうような仕組みや動機付け、意識改革が重要であり、協働できる人材育成には、相当な時間がかかる。			
	この仕事を振り返り、課題を記入してください。 これまで定期的に公民館を利用してきたグループも、会員の高齢化から人数が少なくなっていることや、予約システムの導入により、情報通信機器を倦厭する高齢者が遠ざかってしまうから、利用者が少なくなってくるのが予想される。また、グループ同士の交流や公民館と利用者との関係が希薄になり、より利用者の客体化が進むことが懸念され、ボランティアや各事業の協力者も減り、市民の協力や協働は難しくなるだろう。今後より市民の期待に丁寧に応えていくには職員配置も不十分である。また、主催事業においては、リピーターが多く応募が多いことを良しとしてきたため、新しい企画を実施していなかったり、見直しや改善を図ってこなかった。そのことから市民の学習要求に十分応えたとは言えない状況である。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) これまで定期的に公民館を利用してきたグループも、会員の高齢化から人数が少なくなっている。今後も主催講座から自主グループ化を図っていく以外にも、地域デビューを促進させる場、既存のグループの紹介、各グループ活動が一日体験できるオープンデイのような方向性も考えられる。予約システムにより関りが希薄になる恐れのある公民館と利用者との円滑な関係を築くような機会や、利用者相互の交流、自分たちの施設だと愛着を持ってもらえるようなアイデアが必要である。しかし、職員体制や窓口等の業務と事業の実施で既に飽和状態である。継続的に、よりよい市民サービスを実施するには職員配置の充実や事業の見直しも合わせて行い、総合的に検討していくことが重要である。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 ・毎月開催していた部屋の調整会議の廃止により、公民館から発信するもの、利用者連絡会のお知らせなど伝達手段がなくなってしまったため、伝達手段や互いの交流の場を検討する。 ・なるべく既存のグループと重ならないような日程で事業を組み、定期的な活動が出来るよう配慮する。 ・既存のグループの会員が増えるよう仕掛けや仕組みを検討する ・長年実施し、講師、受講者ともに固定して偏ってしまっているものは見直し、新たな内容で自主グループ化や地域での仲間作りを目指した講座を組んでいく。 ・職員、臨時職員の配置や体制を検討していく。			
(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。